

中国地区化学工学懇話会 2026 年度 セミナー
「フロー合成の最前線：基盤技術の進展とその社会実装」

主催：中国地区化学工学懇話会

共催：広島大学フェニックス協力会

趣旨：資源循環の高度化、労働人口の減少、プロセスの効率化が急速に求められる現在、グリーントランスフォーメーション（GX）は、持続可能なものづくりへの転換を加速する鍵となっています。フロー合成は、管の中で反応を連続させる有機合成で、デジタルとの融合によって初めて達成される、安全性・生産性・環境負荷低減を両立したグリーントランスフォーメーション（GX）の目標です。

本セミナーでは、化学工学からの視点も含め、フロー合成に貢献する先進的な取り組みを紹介し、基盤技術の進展とその社会実装を探ります。

日時：2026 年 11 月 20 日（金）13:00～16:40（講演会），
17:00～18:30（交流会）

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前 4A（講演会 4F），5C（交流会 5F）

（〒732-0821 広島県広島市南区大須賀町 13-9）

アクセス：広島駅（南口・在来線口）から徒歩 2 分

[https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-
hiroshima-ekimae/access/](https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-hiroshima-ekimae/access/)

受付：2026 年 11 月 20 日（金）12:30 開始
（講演会会場前）



定員：100 名

プログラム

主催者挨拶（13:00～13:05）

広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授 矢吹 彰広 氏

〔講演〕

1）（13:05～13:45）「IoT モジュール型自動実験フレームワークの開発と応用事例」

京都大学 大学院工学研究科 教授
外輪 健一郎 氏

2）（13:45～14:25）「フロー合成法の工業的生産に向けた開発事例」

富士フィルム株式会社
嘉藤 彰史 氏

3）（14:25～15:05）「固体触媒フロー反応のスケールアップを支援するベンチフロー反応装置（UT-01）の開発」

日揮株式会社
原田 恒樹 氏

<15:05～15:20 休憩>

4）（15:20～16:00）「晶析工程を含む機能性化学品の連続生産技術の開発」

産業技術総合研究所触媒科学研究部門 フロー化学研究グループ
小林 貴範 氏

5）（16:00～16:40）「フロー合成、機械学習技術が駆動する有機合成の革新」

名古屋大学 大学院創薬科学研究科 教授
布施 新一郎 氏

〔交流会〕 17:00～18:30 (TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前 カンファレンスルーム 5C (5F))

会員資格	講演会	交流会
懇話会会員、化学工学会会員、 広島大学フェニックス協会の会員	5,000 円	5,000 円
非会員	10,000 円	

申込締切：2026 年 11 月 5 日 (木)

申込方法：申込先フォームサイトでお申込み下さい。

申込先フォームサイト：<https://forms.cloud.microsoft/r/YCms8gfgqKG>



参加費のお支払い：当日、講演会場受付(12:30 開始)において現金にてお支払いください。
(登録番号が記載された領収書をお渡しします)。

問合せ先：〒739-8527 東広島市鏡山 1-4-1 広島大学工学部化学工学講座内

中国地区化学工学懇話会事務局・担当幹事・後藤健彦 E-mail：tgoto@hiroshima-u.ac.jp